

■ メッセージのポイント

今日の箇所は、先週の御言葉に続く内容です。サマリアの女性は、今日の箇所で運命的な出会いを確信するようになります。そして、その出会いを通して、彼女には全く新しい喜びが与えられました。今日はイエス様に会った人々の、3つの喜びを考えてみたいと思います。

(1) サマリアの女性の喜び：彼女は、自分の水がめを置いたまま町へ行き、人々に言いました。

「来て、見てください。もしかすると、この方がキリストなのではないでしょうか。」

(2) 町の人々の喜び：人々はイエス様のところに来て、自分たちのところに滞在してほしいと願いました。そこでイエス様は、二日間そこに滞在しました。彼らは、自分で聞いて、この方が本当に世の救い主だと分かりました。

(3) 弟子となった人たちの喜び：その喜びは神様のみこころを行い、そのわざを成し遂げることです。神様がイエス様を遣わしたように、イエス様は弟子たちを遣わしました。霊的な種を蒔(ま)く者あるいはその実を刈る者として、その喜びにあずかります。

■ 宣教とは

狭義では、他文化の人々にイエス・キリストの福音を伝えることです。広義では、この世と人間の回復の為、神様の働きに用いられることです。代表的に、イエス様がこの世に遣わされたことが神様の宣教の働きです。